

花畑ささえあいプロジェクト ～日頃の関係づくりを大切に～

令和4年にスタートした花畑ささえあいプロジェクト*。防災意識の向上と地域住民・学生・関係団体の交流を目的に、イベントを開催しました。

7月29日は文教大学学生が企画した「はなはた防災キャンプ」、30日は花畑団地自治会が主催した「自治会創立60周年記念式典」「夕すずみ会」と同時に「地区防災計画報告会」が行われました。

「日頃から行き来する関係性があるからこそ、災害の時に助け合える」という感想も多く、普段からの繋がりづくりの大切さを再認識する時間となりました。



約1年に渡り知恵を出し合い作成した地区防災計画。報告会で「防災計画は平時からの関係性が大事」と話す花畑団地自治会の佐藤会長(一番右)。

※花畑ささえあいプロジェクト…花畑団地自治会を中心に、近隣の福祉施設や保育園、病院や文教大学生が地区防災計画の作成を通して繋がり合い、「お互いさま・顔の見える関係作り」を目指す取り組みです。



文教大学生主催の「はなはた防災キャンプ」。炊き出しでは、カレーなど約130食が振舞われました。



左から、プロジェクト事務局 いのちとぶんか社 葛西さん、防災キャンプ主催代表 文教大学 三浦さん、事務局 UR都市機構 遠田さん。

取材日 : 令和5年7月29日、30日

参加者数 : 約500名

取材メモ : 「防災計画作成を通して多世代の方々と知り合えたことは大きな財産」と話す文教大学 三浦さんの言葉が印象的でした。(足立社協 吉清健太郎)

問合せ先 : 地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374